

資料 1 - 2

第 2 回淀川区区政会議部会でのご意見 —区政会議の運営について—

平成30年度淀川区区政会議 第2回教育・子育て部会 議事要旨

①全体会議について

- ・前半に説明があり、何か意見がありますかと言われても、対象が広すぎて何に意見していいかわからない。具体的にこの部分についてどう思いますかと聞かれた方が意見を言いやすい。
- ・資料が多く、敷居が高く感じる。もっと敷居を低くしてほしいが、このままでいいという人もいるかもしれない。
- ・質問が交わされている内容の中にも時々私には理解できないときがある。現状では、みんなああいう場では聞きにくかったり、手を上げてマイクで言うほどの事でもないというのもある。本当にわからなかったら質問はできると思うが、わからないところもわからなかったりする。小グループだと例えば横の人に、今、どこのこと言ってた？みたいな事が聞けるぐらいの余裕もあってもいいと思う。審議なので中断できないかもしれないが、途中の休憩をちょっと何分か間に挟んでもらってもいいのかと思います。質問されている方に、今のどいうことで質問されたんですかとかを聞けたらいいと思います。
- ・区政会議は、折角意見が聞ける場なので、意見を聞いてもらった方がいい。要旨にしないといけないのであれば、区役所が調整して作ればいい。
- ・どうしても口の字型を変えないなら、今の並び順ではなく、部会ごととかに並びを変えたらどうでしょうか。
- ・まずは、部会ごとのグループで集まり、慣れてきたら、シャッフルして、いろんな人の意見を聞いてみたいと思います。

②今回の部会について

- ・断然、話しやすくなりました。今日は、いろんな意見を聞けたので、すごく参考になりました。図書の事例も地元の小学校ではやっていないので、早速先生に提案してみようと思います。

平成30年度淀川区区政会議 第2回安全・安心なまち部会 議事要旨

① 区政会議の運営について

- ・部会の方が意見がいいやすい。ロの字型は、区役所の偉い人も座っていて緊張する。
- ・委員だけがロで座ればもっと小さなロになって話しやすくなるのではないか。
- ・全体会議・部会で、意見を言いたい人は言っているのでもいいと思う。グループ討議も一回試しにやってみてもいい。全体会議は、威圧感がある。
- ・資料の概要版がすごくわかりやすいので、説明会はいらないと思う。区役所が読むだけの説明は不要。区政会議委員であれば、資料を事前に読んでくるのは、当然だ。しかし、部会を廃止して資料の全部の範囲を読むのは無理なので、部会の廃止には反対だ。事前配付してもらった資料と当日の資料が違っているのは、困る。事前配付の資料にメモしている事が言えなくなってしまう。
- ・部会があった方がいい。部会でも、グループに分かれて、とことん部会で防災、防犯、福祉について話をした後に、共有した方が密度が濃くなるのではないか。
- ・プロジェクターの使用が良かった。部会は意見が言いにくいとは思わない。現状でいいと思う。
- ・部会は、議事録を取っている現状でも活発に意見交換が行われていると思う。議事録を取っているから意見が言えないのではなく、別の理由があるはずだ。
- ・全体会議は、人数が多いので部会に比べて発言がしにくいのでしょう。
- ・会議は年4回と聞いて区政会議に参加したが、実際は年8回ぐらい開催されており、資料もファイル5冊分ぐらいの量がある。地域では、8割以上が仕事をしており資料を読み込む時間がない。

② 3月の全体会議の配席について

- ・5名：グループごとがいい。一度、試しにやってみるのがいい。
- ・1名：現状維持がいい。

平成30年度淀川区区政会議 第2回コミュニティ力向上部会 議事要旨

①区政会議の運営について

- ・部会は部会で存続させていけばいい。
- ・全体会議では、座り方はどうでもいいが、今回は防災をテーマにします、今回はコミュニティ力をやるので意見を持ってきてくださいみたいにし、グループ分けで座り、このグループではこんなふうな意見がでましたとかにすればいい。この部会では、長い事同じような感じでやってきたので、ちょっと変えたらどうかというのをすごく感じています。
- ・部会はこのまま続けていったほうがいいと思う。全体会議では、あの雰囲気得意な人とか、しゃべれない人とかいて、どうしても黙りがちになる。部会だと少人数で話さざるを得ないし、雰囲気にのまれる事もなく話がしやすいと思う。
- ・勉強会は受け身になると思う。今の部会だと、資料を1回読むところを5回読んで自分なりに意見を言えるように努力をしないといけないと感じている。
- ・全体会議は、全体論になり、何がテーマになるかわからない。例えば、教育のことになるかもしれない。そうなった時に、しゃべる人はしゃべるし、しゃべらない人はしゃべらない。改善しても意味がない、しない方がいいのではないかと思う。例えば、テーマをきちっと決めればいい。同じ共通のテーマを持ち、例えばこの部会のコミュニティに対しては意見が言えるけど、今日は教育、今日は防災となると、なかなか資料から読み取って意見を言うのはしんどいと思う。部会が一番いいと思う。
- ・区政会議自体が、区役所が取り決めたものに対しての発表会の席になっている。区政会議に出てくる委員さんは何をするのか。区政会議という席で、区役所の方針がこういう形であります、この形でやっていきますというのを聞くための証人なのか？
- ・勉強会をやるのはいい。個々の委員が勉強して、区役所の区政を勉強するのはいい事だと思う。コミュニティ力向上部会はものすごく幅が広く、コミュニティは全てにおいてかぶっているので、ネタはつきない。だから勉強会も

やる必要は確かにあるが、会議のやり方は問題ではない。

- 今の区政会議は、地域に持って帰って報告できる会議ではない。区役所は、委員に何を求めているのか。誰でもいいから座っていたらいいという会議ではない。委員もそれなりに勉強してもらおう人に出てきてもらいましょう。
- 区役所の評価をしろというのに、その評価をするのに数字の根拠も何もない資料しか出してこない。評価をしても、それが来年度に反映されていないんじゃないか。
- 区役所としてこういうかたちで進めていくという話に委員は入っていない。出来上がったものを見せて、私たちができませんって言ったらどうするのか。区政を考えるのであれば、各地域からの委員も自分の地域も大事だが、淀川区の区政としては、こういうかたちで進めていくという事を理解してもらわないといけない。役所も、ただ頭数だけで座っている人を委員としてだされても困る、それなりに勉強してもらえよう人を出してくださいと言わないといけない。
- 会議なので議事録を残さないといけない。議事録に残すと意見を言いにくいという人がいるのも確かだが、それであれば意見を言える人を出したらいい。
- 3部会で同じように意見交換をするのであれば、その意見の中で、区役所がどうしたいという意見をまとめるよりも、委員に先に考えさせてほしい。
- 8割の方がオーケーなのに、なぜ一生懸命変えようとしてるのか。私的には十分だと思う。町会の会議とかでも、全然しゃべらないで帰る人もいらっしゃる。
- たくさん議題があるから、答えられないと思う。議題が1つであれば、それについて、みんな同じ話をしているので、私はあの人と一緒にですという答えでもいいですよ。同じように思いますと言えらると思うんですけど、あんだけいろいろなものがあって、それで黙ってるって、それはあると思いますよ。
- ボリュームがあり過ぎるので、どれに答えていいのかわからない。意見は言いたいけど、的をついてない意見を言うということではできないんで、黙っとこうかになってしまう。だから、全体会議で、1つだけに絞っていただいたら、

いくらでも言えると思います。部会のことを2時間でやるんでしょう。できるはずないでしょう。そんなん。それを、しゃべってへんからって、それはないと思います。

- 本当の真意がわかっていなくて、ただただ委員は、これにしとこうと〇をしているだけなのに、そんなに深く掘り下げなだめなのかと思います。アンケートはあくまでアンケート、個々に聞き取り調査をした方がいいと思います。

② 3月の全体会議について

- ブロックごとか部会ごと。敢えて言うならば、ブロックごとがいいと思う。
- 今のロの字で、みなさんの顔を見ながら話すのが一番いい。
- フランクな感じにしてもらう事が優先。席がどうかこうとかではなくて、ベテランが横の新米さんに教えるとか。席を変えたら、緊張して余計話せないという事が起こりそうです。ロの字がいいです。
- ロの字で、テーマを決めてする方がいい。テーマを1個、今日はこれにすると言って話したら、いろんな意見がでると思う。部会だけだったら、同じ話ばかりになるので、煮詰まってくる。このコミュニティがテーマであれば、別の委員さんの違う意見があるかもしれない。